

■ねらい

アジアを中心とした
国際貢献・国際協力

○福岡市のプレゼンス向上

○国際貢献を通じたビジネス展開

具体的には…

- ・官民連携したODA案件等の受注
- ・市内企業へのビジネス機会の提供

■基本的な戦略

○ターゲット都市の絞り込み

⇒これまで技術協力等により関係を築いた支援先に力点

○交流の枠組み構築

⇒MOUの締結等(ODA案件の受注に有利)

■課題への対応

課題①: 案件受注の核となる地場の大手企業が不在

対策①: 地場外大手企業を核に地場が参画する形態を模索

課題②: 庁内に案件受注に関するノウハウが不足

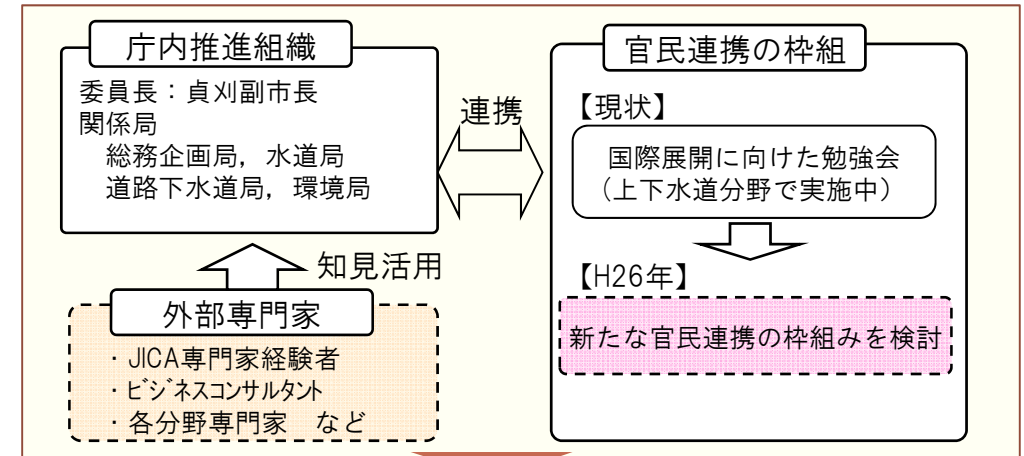
対策②: 外部専門家の知見を活用

課題③: 官民連携による案件受注のための体制が不十分

対策③: 国際展開勉強会(実施中)をベースとした仕組みづくり※

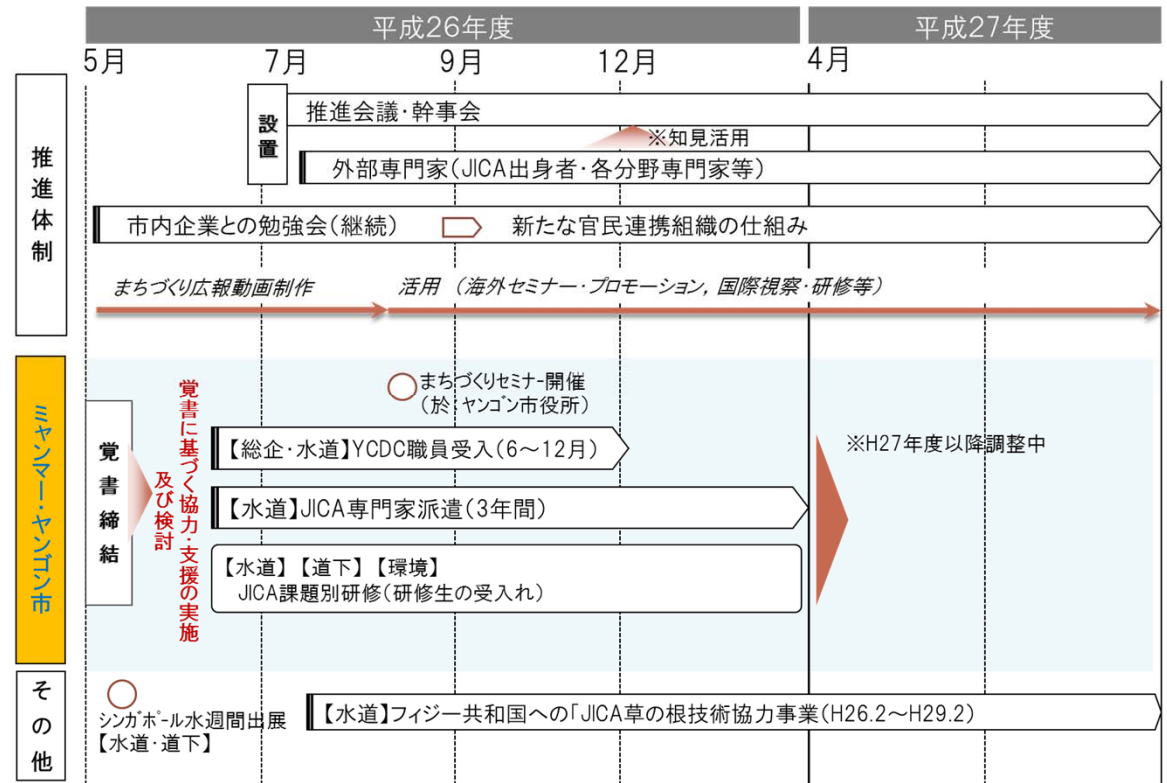
※既存の地場企業等との勉強会は、道路下水道局と水道局が連携し、直近ではH25年11月に開催。

■推進体制



官民連携したODA案件等の受注

<全体スケジュール>



【参考資料】H26年度 分野別の主な取組み状況

■ 水道分野

ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市

①JICA長期専門家 派遣

- 期間: H24.4～H27.3(3年間)
- 業務: 生活用水供給アドバイザー
- ① 現状分析や課題整理, 水道事業運営に係る助言・提言
- ② 「配水管理技術」に関する実践的指導 など



②JICA技術協力プロジェクト専門家 短期派遣

- 期間: H26年5月(1週間)
- 案件名: ヤンゴン市水道事業運営改善プロジェクト 詳細計画策定調査
- 業務: 水道事業運営, 水道施設運転, 維持管理に関する支援内容の助言

③ヤンゴン市開発委員会職員の受入

- 研修名: JICA集団研修「上水道無収水量管理対策(漏水防止対策)」
- 人数: 8名程度 ■ 期間: 6週間程度(秋頃)
- 内容: 講義, 演習, 施設見学など, 無収水量管理対策に関する能力強化。併せて市内企業と連携して工場見学やセミナーを開催。
- 事業名: 自治体職員協力交流事業
- 人数: 1名 ■ 期間: H26年6月～(6か月)
- 内容: 水道行政全般, 水源開発, 配水管理, 浄水設備, 漏水対策など

フィジー共和国

JICA草の根技術協力事業

- 期間: H26年2月～H29年3月
- 案件名: フィジー共和国ナンティ・ラウトカ地区水道事業に関する無収水の低減化支援事業
- 業務: 漏水の防止, 修繕の技術支援, 配水管整備の技術支援
- ① フィジー共和国における技術水準向上のための技術者の派遣
- ② 福岡市にてフィジー共和国水道技術者の研修実施
- ③ 資機材供与等(ポータブル超音波流量計、漏水探知器など)



■ 下水道分野

①JICA課題別研修の実施

- 名称: 下水道システム維持管理
- 期間: H26年8月下旬～10月上旬
- 参加: 10名程度(約10か国)



(参考)国土交通省の『WES Hub』に登録 H24年4月

- 国土交通省が発足させたインフラ技術・政策を海外に発信するための都市連合体の「WES Hub(水・環境ソリューションハブ)」に登録(東京都他6都市が登録, 現在は, 川崎市, 埼玉県, JS, 滋賀県も加わり10団体)



<上下水道連携>

シンガポール国際水週間2014への参加, 出展

- 期間: H26年6月1日～5日
- 場所: サンズ・エキスポ&コンベンションセンター



■ 環境分野

JICA課題別研修の実施

- 名称: 準好気性埋立(福岡方式)処分場の設計・維持管理
- 期間: H26年5月, 11月(※それぞれ1か月)
- 参加: 10名程度(約10か国)

<参考:これまでの実績>

| | |
|------------|---|
| 海外への職員派遣 | 14ヶ国 のべ88名 |
| 海外からの研修受入 | 13ヶ国 のべ117名 |
| 海外からの見学者 | 26件 63ヶ国 245名 |
| 福岡方式技術指導実績 | 【マレーシア】イポー 【中国】雲南省, 山東省 【ベトナム】ハノイ, ハイフォン 【イラン】テヘラン 【サモア】タファイガタ 【パキスタン】ムルタン |



浸出水集排水管幹線の確認
(場所: 西部(中田)埋立場)